

サケ卵収容

12月2日に那珂川のサケの卵が水産試験場の池に搬入されました。

本県では10月から12月にサケが産卵のため、各河川を遡上します。栃木県鮭鱒協会が増殖のためサケを採捕し、人工授精して孵化、水産試験場の池も使いながら稚魚を育てて2～3月に各河川に放流しています。サケが帰ってくる川を守るという大変重要な役割を担っています。



図1 サケの発眼卵（黒い点が目）

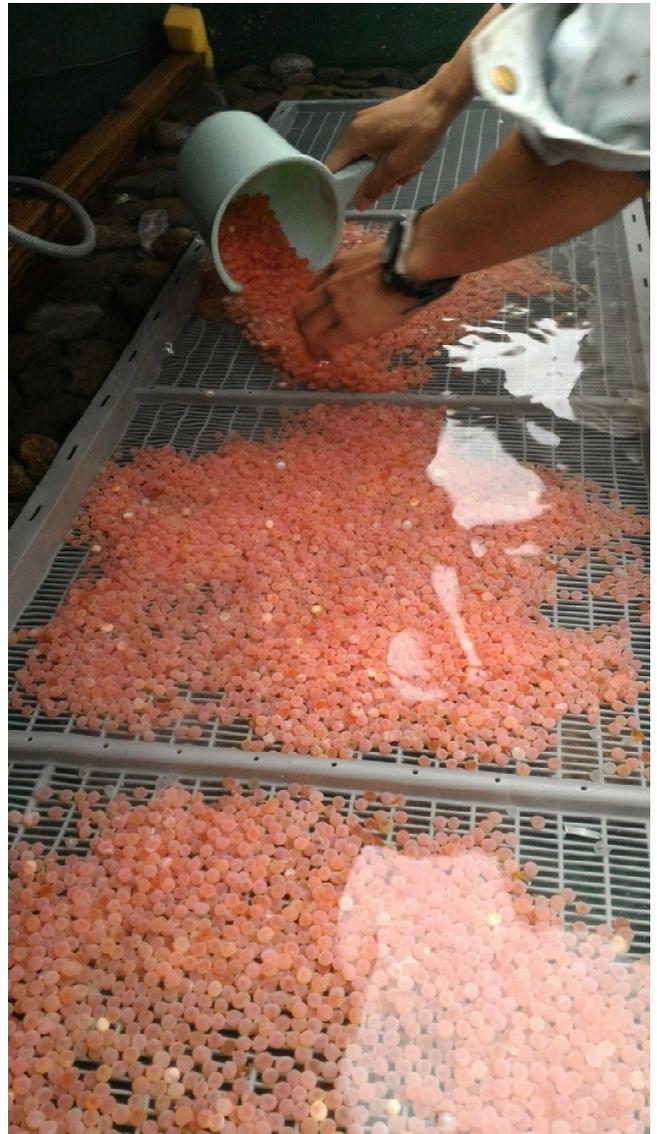


図2 サケ卵の収容の様子